



2018年1月4日  
SMBC日興証券株式会社

## 年頭所感 清水喜彦代表取締役社長発言要旨

明けましておめでとうございます。本年も、皆さまと健やかに新年を迎えられたことを大変嬉しく思っています。

昨年を振り返りますと、世界的な景気回復が続き、日経平均は約26年ぶりに2万3千円をつけました。ただ、地政学的な影響もあり、相場は不透明・不明瞭な状況が続いています。そのような環境の中で、当社は、中期経営計画1年目として、良いスタートが切れました。役社員の皆さまの努力に、心より大変感謝しております。

ここからは年頭に当たり私から3点、皆さまにお伝えしたいことがあります。

まず1点目です。1月1日、当社はSMBCフレンド証券と合併しました。SMBCフレンド証券の皆さまと一丸となって、両社それぞれの強みを認識し、良いところを学び合い、お互いをリスペクトする気持ちを持って融合していきたいと考えています。

2点目は、本年が創業100周年イヤーということです。この100周年は、多くのお客さまに支えられ、先輩たちが築いてきた大きな財産です。その想いを胸に、次の新たな100年に向け、これからもお客さまに信頼してもらい、選ばれる会社であり続けられるよう、いっしょに頑張っていきたいと思います。

3点目は、当社は金融仲介業者として、「顧客本位の業務運営の原則」に沿った対応が求められているということです。お客さまのことをよく調べ、よく知り、お客さまの真のニーズを想像し、ニーズに合った商品を提案することが基本です。「顧客本位の業務運営」は、何か明確なルールがあって、それを守れば良いという話ではありません。社員1人1人が常にお客さまのために、自分の立場では何ができるかを真摯に考えて、実行すること。これが「顧客本位の業務運営」の本質だと考えていますので、皆さま実践してください。

最後になりますが、当社の力にSMBCフレンド証券の力を合わせ、「本邦 No.1 の総合証券会社」となり、三井住友銀行とともにSMFGのツインターボエンジンとして、グループ発展の原動力の一翼を担う存在になっていきたいと考えています。

皆さまにとって、また当社にとっても、素晴らしい一年になりますよう、役社員一同、力を合わせて頑張ってみましょう。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

以上